



城南だより



令和7年1月31日(金)

東京都立城南特別支援学校長

濱野 建児



「第二回防災教育推進委員会」

副校長 西 健史

1月17日、早いもので阪神淡路大震災から30年が経過しました。各報道機関においては、ニュースで報道したり、特別番組を放送したりされていました。当時、石川県在住でしたが、早朝に大きな揺れを感じたことを思い出しました。

1月21日に第二回防災教育推進委員会を開催いたしました。PTA副会長にも参加していただき、実際の避難訓練の映像を見て、今年度実施した防災に関する活動等を振り返り、意見をいただきました。今年度は近隣火災がありました。スクールバスをバスターミナルまで誘導できず、急きょ大田区道主要第102号線において、児童・生徒は下車し登校しました。都立六郷工科高校にも御協力いただき、医療的ケア専用車両については都立六郷工科高校の駐車場を經由し、登校することができました。その反省を含め、1月17日には「駆けつけシミュレーション訓練」と題し、同様の事態への訓練を教職員で行いました。まだまだ、反省点は多いのですが、少しでも安心していただけるように、日々防災への意識を高めていきます。

学校で過ごしている時間は、多いようであまり多くありません。1日8時間、365日のうち200日の登校と考えると、1年のうちの約20%程度となります。ぜひこの機会に、災害時の対応の検討や相談を進めてください。



「コツコツ努力で物事を安定させる」

副校長 笠井 玉喜

令和七年の乙巳（きのとみ）は、60年周期の干支の中で42番目に位置「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いをもつ年だそうです。「巳」は蛇のイメージから「再生と変化」を意味し、この2つの組み合わせることで縁起が良さそうです。今年は、日々の学習の中で努力をして身に付けた力を定着させ、次の学年に向けて少しずつコツコツ取り組み、新しいことにもチャレンジできる気持ちを高めてみてください。また、地域の施設等のお祭りや見学などの情報を参考に学校卒業後の生活を意識する機会を御家庭でもつくってみてください。

1月28日(火)は、笑顔と学びの体験活動プロジェクト「アフリジャコンサート」があり、アフリカの楽器や音楽が楽しめる内容の取組を行いました。

